

絶景を望む「恋人たちの聖地」

サン・アンジェリーナ (宇多津町)

「ずっと幸せに、一緒に過ごせませうように」「結婚 祝1周年。これからもよろしく」一。宇多津町の聖通寺山山頂にある結婚式場「サン・アンジェリーナ」。その展望台を囲むフェンスに、数多くの南京錠がメッセージとともに取り付けられている。

瀬戸大橋を間近で見渡せる絶景スポット。橋が完成したころから、多

くのカップルが訪れ、フェンスに鍵を掛けることで「とわの愛」を誓うようになった。通説では、岡山と香川で遠距離恋愛をしていたカップルが、鍵に恋の成就を祈り、見事にゴールインしたのが始まりだと言われている。

2006年、NPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市)が周辺地とともに、四国で初めて「恋人の聖

地」に選定。これまで掛けられた鍵は8万個ほどに及ぶ。数が多い海側のフェンスは危険防止のため数年に一度、新しく取り換えている。鍵は併設のチャペルでクリスマスのミサに併せて奉納式を行い、恋の成就が祈られる。

同式場は今月から一部施設のリニューアル工事を行う。完成時期は未定だが、再開後は毎週火、金曜日を「誓いの日」として展望台の一般開放を計画。カップルたちを引き寄せ、「インスタ映え」する新たな空間として生まれ変わる予定だ。



「サン・アンジェリーナ」の展望台から見える瀬戸大橋の夜景。フェンスにはカップル同士がとわの愛を誓う南京錠がぎっしり掛けられている(2016年12月)